

学ぶ意欲を高め、考えをより確かにする『ノート指導』

【 学習のためのノートの機能 】

① 技能習得(練習)機能 《技能》

- ・計算練習や漢字練習等, 繰り返して練習する

② 整理・保存機能 《知識・理解》

- ・調べたこと, わかったこと, 感じたことをノートに整理して残すとともに, 書くことによって自分の考えを明確にする
- ・板書をきちんと写す(ていねいに)

③ 探究(思考)機能 《思考・判断・表現》

- ・書きながら考え, 考えながら書くことにより深めていく。



④ 振り返り機能 《関心・意欲・態度》

- ・学習の流れ等を振り返り, 大切な学習内容を確認する
- ・既習事項を振り返り, 次の学習に役立てる

ノート指導のポイント

◆ 目的に応じたノートの使い方を指導する

- ・授業の流れ(学習過程)をふまえて, 自らの思考の流れがわかるように書く
【 基本的な記入する項目 】
ア)日付や教科書のページ イ)学習のめあて ウ)自他の考え エ)まとめや感想
オ)その他必要な板書内容



◆ 板書との関連を重視する(板書技術の向上)

- ・**板書をていねいに写すことを基本**としてきちんと指導し, その後で自分なりに工夫させる
例) 番号や記号, 矢印, 囲みや線(定規をきちんと使う), 自分なりのマーク
つぶやきやコメント 等々
 - ・色チョークの使用と関連させ, 色ペンの使い方を指導する(校内でのルール必要)
- ※ 使い方の指導(基本→活用)が必要

◆ 子どものノートを活用する場を設ける

- ・授業中にICT機器を活用し, ノートを大きく映して発表させる

◆ ノート点検を行い, 評価(授業評価・子ども評価)に役立てる

- ・定期的にノートを回収し, 子どもとの「対話」(助言と励まし)の場とする
例) 考えに対する助言, ノートの使い方, 学習に取り組む態度や姿勢等に対する助言や励まし
- ・毎時間の細やかな机間指導により, ノート指導を充実させる



◆ 集中してノートへ書かせる

- ・書く時間をきちんと確保し, 書いている途中に発問や説明, 指示をしないようにする

◆ ノートの取り方の上手な例(見本となるノート)を紹介する

- ・ICT機器を活用して子どもたちに紹介する
- ・学級便りで紹介したり, 学級にコピーを掲示したりして, 意欲の向上を図る



ノート指導を充実させるためには, 授業で必要な学習用具を一人一人の子どもにきちんと用意させることが大切です!